

令和7年度 第1回 学校運営協議会

浜松市立中瀬小学校

1 日時 令和7年5月9日（金）10:00～12:00

2 会場 浜松市立中瀬小学校 会議室

3 内容（1）会長選出・挨拶

進行（主幹）

（2）校長挨拶

（3）新規委員任命書交付

※ 授業参観 10:20～10:50

（4）自己紹介

（5）浜松市学校運営協議会規則の確認

（6）議長の選出

（7）前回会議録、令和6年度協議会自己評価の確認

（8）熟議

進行（議長）

① 令和7年度学校運営の基本方針について（承認）

② 中瀬小学校いじめ防止基本方針について

③ 本年度のコミュニティ・スクールの進め方について
～子供たちの粘り強い取り組みの支援に向けて～

④ 地域とともにある学校に向けて

⑤ 夢育やらまいか事業に関する意見書について

（9）連絡 今後の予定と主な内容

第2回 令和7年 9月26日（金）13:30～15:30

（クラブ活動見学・参加 14:25～15:25）

支援活動について 今後の支援計画について

第3回 令和7年12月12日（金）14:00～15:30 AM 学習発表会

支援活動についての振り返り（成果と課題 意見具申）

今後の支援計画について

第4回 令和8年 2月12日（木）13:00～15:00

学校評価の結果について

学校運営協議会の1年間の取組について（自己評価）

次年度の学校経営方針・活動・組織について

令和7年度

第1回学校運営協議会



令和7年5月9日(金)

浜松市立中瀬小学校



<キャリア教育で付けたい力>

- ㊦ なかよく <自分も友達も大切にする力>
- ㊧ かしこく <課題を見つけて解決する力>
- ㊨ ぜんりよく <夢に向かって努力する力>



学校教育目標「自ら学び 共に高め合う子」 ～笑顔かがやく 楽しい学校～

(様式 1)

令和 6 年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（ 中瀬小 ）学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ・「多様な実践」を生み出していく。
- ・ボランティア活動が今後も継続できるような仕組みづくりを行う。
- ・立ち上げから 3 年目となり区切りの年として、学校のニーズにより多くの保護者や地域の力で支えることで、活動の広がりをもたせていく。(地域の人材、グループ、企業等への広がり)

＜評価項目 1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・キャリア教育推進のための具体的な取り組みとしての教科担任制やクラブ活動について、詳細な説明を聞き、それについて熟議できた。
- ・グランドデザイン等の資料に基づき、学校から学校運営基本方針について説明を受け熟議した。キャリア教育の推進に向け、教科担任制や I C T 活用など、目指す学校の姿を浮き彫りにすることができた。

＜評価項目 2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・教育活動の充実をめざした支援活動の輪が広がりつつあると感じた。特にコーディネーターを中心として建設的な意見を出し合うことができ、学習活動のニーズを理解し、学校支援活動の推進につなげることができた。
- ・子供たちの「自ら学ぶ」という目標において、授業やクラブ活動ではどのような支援が必要かを話し合い、学期毎に支援活動を行うことができた。また、活動に参加してくださった保護者や地域の方にアンケート調査を行い、そこから見えた改善点や反省点を協議することができた。
- ・学校や家庭だけで進めていくことが難しい支援活動について、地域へ依頼していくことの必要性を確認することができた。

＜評価項目 3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・協議結果をまとめた会議録や、写真掲載した「C S 便り」での支援活動の様子紹介など、地域回覧・さくら連絡網・HP を利用して発信した。
- ・さくら連絡網でのボランティア募集の発信は、今、学校が何を必要としているのか、家庭・地域へ広く情報発信することができた。
- ・「C S 便り」の自治会での回覧や、HP に会議録などを掲載しているが、家庭や地域でどれだけの人に閲覧されているかを顧みるとまだ課題がある。

＜評価項目 4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・保護者や地域の人材・地域の特色を生かしたボランティア活動について熟議する。
- ・防災という観点からも、学校と地域と保護者のつながりについて考え、子供たちの防災に対する知識を高められるような支援活動について熟議する。
- ・本年度の取組を継続しつつ、学校が必要としている支援をより具体的にし、より多くの保護者や地域の力で学校を支える体制づくりを進めていきたい。

令和7年度 浜松市立中瀬小学校 グランドデザイン

浜松市の教育理念

- 描く夢や未来の実現
- 主体性 多様性・包摂性 信頼・協働

浜北北部中学校区の目指す子供像

- 明るい挨拶のできる子
- 心身共にたくましく生きる子

中瀬

学校教育目標

自ら学び 共に高め合う子



目指す子供像



＜自分も友達も大切にする力＞

○ 互いを認め、自分のよさを生かしながら協働する子

- ・自分のよさを発揮し、自己有用感を高められる特別活動の実践(学級活動・縦割り活動・児童会活動)
- ・道徳授業の工夫改善 ・挨拶運動 ・体験活動の充実

発達支援教育の充実

一人一人の存在を大切にした生徒指導

キャリア教育の推進



＜課題を見つけ解決する力＞

○ 楽しんで課題解決に取り組む子

- ・「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業実践(子供の「学びたい!」を大切に単元構想)
- ・教科担任制による授業の充実 ・ICT活用
- ・授業力向上を目指した校内研修・読書活動の推進



＜夢に向かって努力する力＞

○ 目標に向かって粘り強く取り組む子

- ・学習カードを活用した体力作り・体育学習の充実
- ・多様な運動に親しむための体育的イベントの実施
- ・健康教育の推進(規則正しい生活習慣)
- ・防犯訓練や防災訓練・防災教育の実施

目指す教師像 情熱と誇りをもち、子供と真剣に向き合う教師

- 子供の主体性を大切にし、一人一人のよさを伸ばす教師
- 人権意識をもち、子供、保護者に寄り添う教師
- 組織の一員であることを自覚し、信頼し合い、協力し合う教師
- 常に謙虚な姿勢で授業力向上を目指して研鑽に務める教師

目指す学校像 笑顔かがやく 楽しい学校！ あふれる笑顔 つながる笑顔

- 誰もが安心して自分のよさを発揮し、一人一人が輝く学校
- 温かい人間関係と信頼で結ばれた学校
- 保護者や地域から信頼され、地域に根ざし、地域とともに歩む学校

【保護者・地域とともに歩む学校の創造】

- ・学校運営協議会の充実
- ・地域の教育力の活用
- ・保護者・地域への情報発信と連携
- (中瀬小コミ・スク)
- 人材活用、教材化
- 学年・学校だより、ブログ等

1 学校教育に求められているもの

<国>

「生きる力」の育成と社会に開かれた教育課程

変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育て、これからの社会を創り出していく資質・能力を育む。

○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

○学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントの確立

○児童の発達の支援、家庭や地域との連携・協働、キャリア教育の充実

○ICTの「学び」への活用、プログラミング教育<GIGAスクール構想>

<令和の日本型教育>

全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現

・ICTの活用、少人数指導 ・探究的な学習

<市>

【基本理念】 描く夢や未来の実現

主体性・・・物事を自分事としてとらえ、目の課題の解決や描く未来の実現に向けて粘り強く取り組む

多様性・包摂性・・・一人一人の自分らしさを認め、互いを尊重し合いながら、誰もが活躍できる環境を実現していく

信頼・協働・・・それぞれの立場の人が、人や組織に信頼を置き、協働したり、相互に作用したりして、より良い関係性を構築していく

【目指すこどもの姿】

- ・自分らしさを大切にすること
- ・他者と協働し、主体的に行動できること
- ・自己調整しながら、粘り強く取り組むこと

【目指す教職員の姿】

- ・こどもの自分らしさを受け止める教職員
- ・愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員
- ・専門性と指導力を磨き続ける教職員

○確かな学力の育成・・・自ら課題を見つけ自ら学び、主体的に判断・行動し、よりよく問題解決する力を育成する

○豊かな心の育成・・・道徳性や情操を豊かにする心を涵養する

互いの個性や多様性を認め合い、支え合いながら、共によりよく生きようとする態度を育む

○健やかな心身の育成・・・望ましい生活習慣をするとともに、運動やスポーツに親しむ心情を育むことを通して、心身の健康の増進と体力の向上を図る

安全な生活を実現するために必要な力を育成し、生涯を通じて自他の安全を守ろうとする態度を育む

- ・外国語教育の充実
- ・郷土愛の醸成
- ・情報教育、情報モラル教育の充実
- ・特別活動、主権者教育の充実
- ・保幼小中の連携
- ・CSの充実

2 本校の現状・課題

＜児童の実態＞

- 友達と一緒に助け合って行動できる子が多い。
- 話を素直に聞き、言われたことにきちんと取り組む。
- 優しく思いやりがあり、手伝いや手助けに進んで取り組む。
- 人のために働こう、役に立とうとする。
- 外遊びを好み、進んで運動に取り組もうとする。
- 自分で課題を見つけ、進んで取り組む意欲にやや欠ける。
- 粘り強くあきらめずに、最後までに取り組むことがやや苦手である。
- 自分の考えを皆の前で発表したり、友達に伝えたりすることが苦手である。

3 学校経営の基本理念

きわめて変化の激しい、予測困難な時代を迎え、これから生きていく子供たちには、たくましく、そして柔軟に対応する力が求められる。そのために課題に主体的に向き合い、周りの人たちと関わり合いながら解決していくことができる資質・能力を子供たちに身に付けさせていくことが大切である。そこで、子供たちが自ら課題を見だし、調べてみたい、考えてみたいという、子供の思いをもとにした活動を充実させていく。そして友達や教職員など、周りの人との関わりの中で課題を解決し、考えを広げたり、深めたりしていくことで、達成感、満足感が得られる教育活動に取り組んでいく。

全職員が発達支援教育への理解を深めてきた。子供たちそれぞれが持つ力を高めていくために、さらに適切な指導や支援を行うようにしていく。そして、子供たち一人一人をかけがえのない存在として尊重し、子供が周りの人に支えられ、愛情や信頼、期待などに包まれていると実感できる教育を推進する。

4 学校教育目標

＜学校教育目標＞

自ら学び 共に高め合う子

5 めざす子供像

〔な〕 なかよく（自分も友達も大切にする力）

- 互いを認め、自分のよさを生かしながら協働する子

〔か〕 かしこく（課題を見つけ解決する力）

- 楽しんで課題解決に取り組む子

〔ぜ〕 ぜんりよく（夢に向かって努力する力）

- 目標に向かって、ねばり強く取り組む子

6 めざす学校像

笑顔かがやく 楽しい学校！！

あふれる笑顔 つながる笑顔

- 誰もが安心して自分のよさを発揮し、一人一人が輝く学校
- 温かい人間関係と信頼で結ばれた学校
- 保護者や地域から信頼され、地域に根ざし、地域とともに歩む学校

7 めざす教師像

情熱と誇りをもち、子供と真剣に向き合う教師

- 子供の主体性を大切にし、一人一人のよさを伸ばす教師
- 人権意識をもち、子供、保護者に寄り添う教師
- 組織の一人であることを自覚し、信頼し合い、協力し合う教師
- 常に謙虚な姿勢で授業力向上を目指して研鑽に努める教師

8 具体的な方策

◆豊かな心を育む教育の推進

- 自分のよさを発揮し、自己有用感を高められる特別活動の実践
(学級活動・縦割り活動・児童会活動)
- 多面的・多角的に考えることを視点とした道徳授業の工夫・改善
- 児童会活動と連動した挨拶運動の展開
- 保護者や地域との連携による豊かな体験活動の充実

◆確かな学力の定着

- 「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業実践
(一人一人の「学びたい」を大切にした単元構想・ICT活用)
- 教科担任制による授業の充実
- 授業力向上を目指した校内研修
- 読書活動の推進と時間の確保

◆健やかな体の育成

- 学習カードを活用した体力作り・体育学習の充実
- 多様な運動に親しむための体育的イベントの実施
- 健康教育の推進(規則正しい生活習慣)
- 防犯訓練や防災訓練・防災教育の実施(安全教育の推進)

◆一人一人の存在を大切にした生徒指導

- 確かな児童理解に基づく生徒指導(いじめ撲滅・不登校対応)
- 全職員による迅速な情報共有とマニュアルを活用した組織的な対応

◆発達支援教育の充実

- 個別の教育支援計画・個別の指導計画を基にした系統的な支援
- 発達支援学級の円滑な運営（校内組織及び他機関との連携）
- 発達支援教育推進委員会の充実
- 校内発達支援教室（コスモスルーム）の円滑な運営
- ＳＣ・ＳＳＷ・巡回相談の活用、通級指導教室・医療機関との連携

◆キャリア教育の推進

- 子供が見通しをもつことができる学年掲示板の活用
- 道徳での学びを生かした自己実現
- グループエンカウンターを通じた人間関係の育成
（自己理解）（他者理解）（信頼関係）
- キャリアパスポートの活用

◆保護者・地域とともに歩む学校の創造

- 学校運営協議会の充実
- 地域の教育力の活用・地域素材の教材化・人材活用（武家風づくり・龍燈…）
- 保護者・地域への情報発信と連携

地域とともにある学校に向けて…「**なかぜっ子応援団**」募集予定

各学年で必要としている支援一覧

5組	☆5年家庭科 1学期 製作（手縫い）5月中旬～6月 2学期 製作（ミシン）10月～11月 ☆6年家庭科 2学期 製作（ミシン）9月～10月
1年	生活科「あきをたのしもう」10・11月
2年	生活科「ときどき わくわく まちたんけん」6・10月下旬
3年	総合的な学習の時間 ○凧作り 支援 書写 ○書初め 支援
4年	○図工 ・のこぎりギコギコ 2月 指導補助 ○社会 ・郷土の歴史に詳しい方 11～12月 講話、質疑等
5年	○家庭科 ・ソーイング 9月 ・調理実習 6～7月、11月～12月
6年	○総合的な学習の時間 職業に関する話をしていただきたい 6・7月 ○総合的な学習の時間 中瀬学区内の職場体験に行く児童引率をしていただきたい。 10月～11月のどこか。 ○校外学習 浜松城周辺のチェックポイントに立ち、子供の様子を見ていただきたい。 6月5日9時～11時30分(現地集合・現地解散になります)
クラブ活動	○裁縫クラブ…フェルトを使った小物づくりの助言、補助。 ○昔の遊びクラブ…けん玉やお手玉の助言、補助。 ○その他、活動の補助。
委員会	○園芸：水やりボランティア ・夏休み期間 野菜の水やりをする ・冬休み期間 パンジーの水やりをする

(様式1)

令和 7 年 5 月 9 日

浜松市立中瀬小学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 平賀 伊織 様

浜松市立中瀬小学校運営協議会
会長 山本 忠雄

夢育やらまいか事業に対する意見書

令和7年5月9日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

- 中瀬地区における歴史ある文化・芸術の体験的な活動の充実を図り、地域について知り、地域に親しみ、地域を愛する気持ちを育んでもらいたい。
⇒ 各学年において、地域住民を講師として招聘し、歴史的文化の風作りや地域の建造物などについて学ぶ場を設ける。